

# 幕末旅役者歩兵隊

歴史

の  
ぐちたけ ひこ  
野口武彦 著

▼46判・上製カバー・250頁・定価二、八六〇円

2026年1月刊行



慶喜逃亡・大坂城炎上、途方にくれた歩兵達は、旅役者に扮し歌舞伎を演じながら江戸帰還をめざす！ 歴史小説で俯瞰する異色の幕末史。

## 【目次】

序幕 山崎街道——『仮名手本忠臣蔵』五段目

一 慶喜逃亡／二 大坂城炎上／三 歩兵隊誕生／  
四 山崎街道の窮境／五 芝居は無筆の早学問

二幕目 桑名——『伊勢音頭恋寝刃』油屋の場

一 紀州をめざせ／二 勤王か佐幕か。ゆれる桑名／  
三 芝居小屋「郭座」／四 似て非なるもの／五 熊五郎の油屋の場／六 にわか役者一団

三幕目 名古屋——『近江源氏先陣館』盛綱陣屋

一 青葉松事件にゆれる尾張／二 潮目が変わる／  
三 熊五郎一座旗揚げ／四 演目決定／五 盛綱陣屋／六 射撃と演技の共通／七 一目散の隋徳寺

四幕目 下田・横浜——『夏祭浪花鑑』住吉髪結床の場

一 外国船で賑わう下田／二 生き馬の目を抜く／  
三 住吉髪結床の場／四 田之助人気高まる横浜／  
五 甍の仇討

大詰 江戸・上野山炎上——『偽織鑑樓錦』大晏寺堤の段

一 進行する江戸終焉のドラマ／二 大晏寺堤の段／  
三 彰義隊討伐計画／四 上野山の土肥庄次郎／  
五 慶応四年五月十五日／六 武士の花道

解説 幕末という「時代」を俯瞰する最後の小説

(石川肇)

## ◆著者略歴

野口武彦(のぐち たけひこ)

一九三七年東京生まれ。文芸評論家。早稲田大学第一文学部卒業。東京大学大学院博士課程中退。神戸大学文学部教授を退官後、著述に専念する。日本文学・日本思想史専攻。一九七三年、『谷崎潤一郎論』(中央公論社)で亀井勝一郎賞、一九八〇年、『江戸の歴史家——歴史という名の毒』(ちくま学芸文庫)でサントリー学芸賞受賞。一九八六年、『源氏物語』を江戸から読む(講談社学術文庫)で芸術選奨文部大臣賞、一九九二年、『江戸の兵学思想』(中公文庫)で和辻哲郎文化賞、二〇〇三年、『幕末気分』(講談社文庫)で読売文学賞、二〇二一年に兵庫県文化賞を受賞。『幕府歩兵隊』幕末を駆けぬけた兵士集団(中公新書)、『慶喜のカリスマ』(講談社)『開化奇譚集——明治伏魔殿』(講談社)ほか多数。二〇二四年六月逝去。

## 注文書

(書店印)

ご担当

様

冊

法蔵館

定価二、八六〇円

ご住所

野口武彦著

幕末旅役者歩兵隊

お電話

お名前

ISBN: 978-4-8318-5738-5 C1021

ご注文はFAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp